学校番号	２０２

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地学基礎　新訂版（実教）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◇中学校での学習を振り返りつつ、身近なできごとと関連づけて授業を進める。
◇視覚教材や教科書を用いたプリント学習を行い、学習内容を理解しやすいように努める。
◇観察・実習においては、その意図、観察や実習の方法や整理の仕方をていねいに指導する。

2　学習の到達目標

◇地球科学、気象学、天文学について基礎的な内容を習得する。
◇授業の学習を通じて、自然科学に対する考え方、捉え方について学習する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身近なできごととの関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境およびそこで生じる様々な現象について興味関心を持ち、地学的な事物・事象に対する探究心をもつ。	基本的な概念や原理・法則をもとに、宇宙や地球に対する科学的な見方や考え方を養う。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけている。	宇宙の誕生から現在の地球に至るまでの過程を、空間的および時間的な広がりの中で理解し、地学の基本的な概念や原理・法則を理解している。
評価方法	遅刻・欠課の状況および授業への参加態度、授業プリントの提出状況によって評価する。	なぜそうなるのかを自分の言葉で論理的に説明できるか。	実習において説明どおりに作業が行えているか。	授業内容が知識として定着しているかを定期考査および授業内で行う確認問題で評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	太陽系と宇宙	1. 太陽系の中の地球 2. 太陽とその進化 3. 宇宙のすがた	○	○	○	○	a:授業への取り組みおよび提出物の提出状況 b:ワークシートでの論述 c:実習課題の完成度 d:確認問題および考査における理解度	・授業内容が知識として定着しているか ・なぜそうなるのかを自分の言葉で論理的に説明できるか ・提出物の提出状況
1学期期末	地球の構成と運動	1. 地球の形と大きさ 2. 地球内部の構成 3. プレートの運動	○	○	○	○	a:授業への取り組みおよび提出物の提出状況 b:ワークシートでの論述 c:実習課題の完成度 d:確認問題および考査における理解度	・授業内容が知識として定着しているか ・なぜそうなるのかを自分の言葉で論理的に説明できるか ・提出物の提出状況
2学期中間		4. 火山と地震	○	○	○	○	a:授業への取り組みおよび提出物の提出状況 b:ワークシートでの論述 c:実習課題の完成度 d:確認問題および考査における理解度	・授業内容が知識として定着しているか ・なぜそうなるのかを自分の言葉で論理的に説明できるか ・提出物の提出状況
	地球の変遷	1. 地層と化石 2. 古生物の変遷と地球環境						
2学期期末	大気と海洋	1. 大気の構造と運動 2. 大気の大循環 3. 海洋の構造と海水の運動 4. 日本の四季の気象と気候	○	○	○	○	a:授業への取り組みおよび提出物の提出状況 b:ワークシートでの論述 c:実習課題の完成度 d:確認問題および考査における理解度	・授業内容が知識として定着しているか ・なぜそうなるのかを自分の言葉で論理的に説明できるか ・提出物の提出状況
学年末	地球の環境	1. 日本の自然環境 2. 地球環境の科学	○	○	○	○	a:授業への取り組みおよび提出物の提出状況 b:ワークシートでの論述 c:実習課題の完成度 d:確認問題および考査における理解度	・授業内容が知識として定着しているか ・なぜそうなるのかを自分の言葉で論理的に説明できるか ・提出物の提出状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。